

すみれ組だより 3月号



令和5年3月22日 ニトリ保育園 担当:鈴木



暖かな陽の光と共に、小さな虫や可愛い草花を見かける季節となりました。

先日、チャイルドブックの“おでかけずかん”を持って土手へ散歩に行ってきました。テントウムシを見つけるとさっそく図鑑を開いて「点々が同じだからこれかな?」「これだね!」「先生、何で読むの?」と小さなテントウムシを囲むように集まる子ども達。「ナナホシテントウだよ」と保育者が伝えると点の数を「1、2、3、4...」と数える子の姿も見られ、本当に点がワフあることに驚いていました。また近くにもう一匹テントウムシを見つけると「ママとパパはお仕事なのかな?」「一緒に遊んでるんじゃない?」と可愛い会話が始まりました。

他にも菜の花とオオイヌフグリを見つけ春を感じたひと時でした。

また、1年の振り返りをした日のことです。

一人一人頑張ったことを話すと、「はさみが上手になった」「お箸でごはんが食べられるようになった」「メロディオンが弾けるようになった」「チューターが出来た」とたくさんの喜びが始まりました。

すみれ組で新しく始まった活動が特に印象的だったようですが、この一年で思いをことばで伝えることや挨拶がとても上手になったな...と感じています。4月は「先生お茶」と言っていた子が「お茶ください」と言えるようになったり、玩具の使い借りをトラブルに悩んでいた子が、お友だちの作った物を見て、「すごいね!それどうやって作ったの?」と尋ね、一緒に作るなど、日常の中でもたくさんの成長を感じることが出来ました。

この1年、至らぬ点も日々あったことと思いますが、園へのご理解ご協力にいただきありがとうございました。